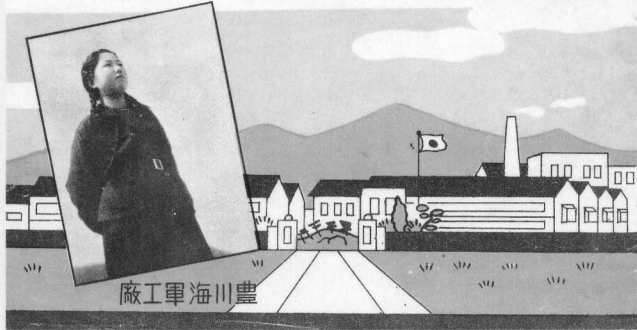


豊川海軍工廠展

私達の宿舎



女子従業員募集のパンフレット

豊川海軍工廠は、海軍兵器の生産を目的として、昭和13年に宝飯郡豊川町・牛久保町・八幡村にまたがって建設することが決定され、昭和14年12月15日に開庁しました。機銃及び弾丸や艦船で使用する測距儀、双眼鏡、射撃装置などを生産し、機銃の生産に関しては日本最大の規模で、東洋一の兵器工場といわれました。工廠の発展は、人口の増加や各町村の結びつきを強めることとなり、豊川市の誕生・発展に大きな影響を与えました。しかし、昭和20年8月7日の米軍B29爆撃機などによる空襲で壊滅的な被害を受け、2,500名以上の人が犠牲となりました。

本展は、豊川市の歴史の中で重要な事象である豊川海軍工廠の歴史や戦争について知っていただこうと、毎年夏の時期に開催しています。戦後半世紀以上を経た今、豊川海軍工廠についてあらためて振り返り、私達の街にもあった戦争について考えていただく機会となれば幸いです。

●豊川市内に残る戦時下の暮らしを伝える資料も展示します

国防婦人会のたすき▶



名古屋市御器所小学校の児童が長松寺(現在の豊川市御津町内)に集団疎開していた時、同寺に掲げられていた門札(門標)▶



▲非常食用缶詰の代用品



豊川海軍工廠の絵を募集しています

当館では豊川海軍工廠の絵を募集しています。これは戦争経験者が高齢化し、戦争の事実を後の世代へ伝えることが難しくなっている状況の中で、戦争資料だけではなく、視覚的に捉えることができる絵画資料が必要と考えて始めたものです。

皆さまのご協力をお願いいたします。

●募集する絵

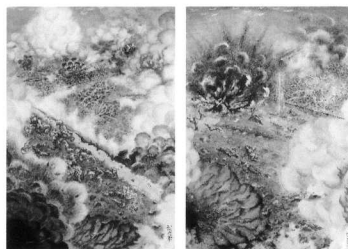
豊川海軍工廠に関連するものであれば、空襲に限らず何でも結構です。絵の種類、技量は問いません。規格は四つ切(54×38cm)程度とします。(用紙が必要な方は桜ヶ丘ミュージアムでも配布します。)

●提出期限

期限はありません。

●その他

絵は寄贈、著作権は桜ヶ丘ミュージアムとなります。



豊川海軍工廠被爆絵図

●豊川海軍工廠のあゆみ

年月日(昭和)	事項
11年	日本海軍、仮称「A廠」(後の光海軍工廠)と仮称「第二A廠」(後の豊川海軍工廠)の建設計画を決定
12年 7月 7日	日中戦争が始まる
13年 6月 1日	新設工廠用地に本野ヶ原を選定
14年 3月	仮称「第二A廠」の建設を開始
12月15日	豊川海軍工廠開庁式。初代工廠長は神保勉一少将
15年 4月	豊川海軍工廠工員養成所(仮校舎)開校
12月23日	豊川海軍共済組合病院(後の豊川海軍共済病院)竣工
16年 4月21日	二代目工廠長、相馬六郎少将(後に中将)着任
12月 8日	対米英宣戦布告(太平洋戦争勃発)
15日	新たに光学部を開設
18年 6月 1日	豊川・牛久保・国府の三町と八幡村が合併し、市制が施行され豊川市が誕生
9月 1日	新たに指揮兵器部を開設
11月 1日	三代目工廠長、清水文雄少将(後に中将)着任
19年 4月15日	新たに器材部を開設
8月23日	女子挺身勤労令公布・施行
11月23日	米軍機、工廠を上空より写真撮影。工廠に爆撃を行う際の効果を分析
20年 5月19日	工廠初の被爆。指揮兵器部第一機械工場付近が被弾。30余人の犠牲者がでたという。また市内土筒・当古・雨谷にも爆弾落下し7人の犠牲者がでる
7月 1日	工廠上空から多数のビラ(伝單)がまかれる
15日	工廠にP51(ムスタング)来襲。銃架工場被弾し負傷者あり
24日	工廠上空から多数の降伏勧告ビラ(伝單)がまかれる
8月 6日	広島に原子爆弾投下される
7日	豊川海軍工廠被爆。米軍B29爆撃機124機などによる爆撃を受け事実上壊滅。死者は2千500人以上、負傷者は1万人以上とされる
9日	長崎に原子爆弾投下される
15日	太平洋戦争終結
10月 6日	豊川海軍工廠解散式



▶ 交通案内

電車○JR飯田線「豊川」駅・名鉄豊川線「豊川稲荷」駅下車徒歩15分
バス○豊橋駅東口バスのりばから豊鉄バスで「イオン豊川店」下車徒歩約5分
JR豊川駅前のりばからコミュニティバス千両三上線「上千両集会所」ゆきで、「地域文化広場」下車徒歩1分
車 ○東名高速道路「豊川IC」から約10分(駐車場96台/無料/公園と共用)
※土日は混雑が予想されるため、公共交通機関の利用や乗合せにご協力ください。

TOYOKAWA CITY SAKURAGAOKA MUSEUM

豊川市桜ヶ丘ミュージアム

〒442-0064 愛知県豊川市桜ヶ丘町79-2(豊川地域文化広場内)
TEL.(0533)85-3775/FAX(0533)85-3776
<http://www.city.toyokawa.lg.jp/enjoy/sakuragaokamuseum.html>